



スギ花粉症のシーズン。子どもの症状について教えてください。



花粉症は、花粉に対するアレルギーのために、鼻炎と結膜炎を生じる病気です。最も多い原因はスギ花粉で、この場合は、症状があるのはスギ花粉の多い2～5月に限られます。

まず、花粉が鼻に入ると、繰り返ししゃみとともに、水様の鼻汁が出ます。頑固な鼻づまりが起こり、口呼吸を余儀なくされます。目に花粉が入ると、目がかゆくなり、涙が出て、充血も起こります。鼻で吸収されなかった花粉がのどへ流れ、のどのかゆみ、せき、皮膚のかゆみなどが生じます。

子どもの花粉症は、低年齢化が進んでいます。

子どもの花粉症・・・症状は大人より軽度

発症は、ごくまれに1歳代のことがあります。が、通常は3歳ごろ。症状は大人より軽度で、鼻の穴が小さくて花粉が入りにくいことから、くしゃみあまり出ずに、鼻づまりが多い傾向にあります。

対策は、まずは花粉との接触を避けること。毎日の花粉情報に注意して、飛散の多いときは窓を閉めておく、外出時にマスク、メガネを使う、帰宅時は、衣服や髪をよく払ってから入室し、洗顔、うがいをして、鼻をかむことなどがあります。

薬は、抗アレルギー剤とよばれる飲み薬、点眼薬、点鼻薬などいろいろありますので、医師

に相談してください。

〈水戸市中丸町の平野こどもクリニック院長・

平野岳毅〉



子育て相談室